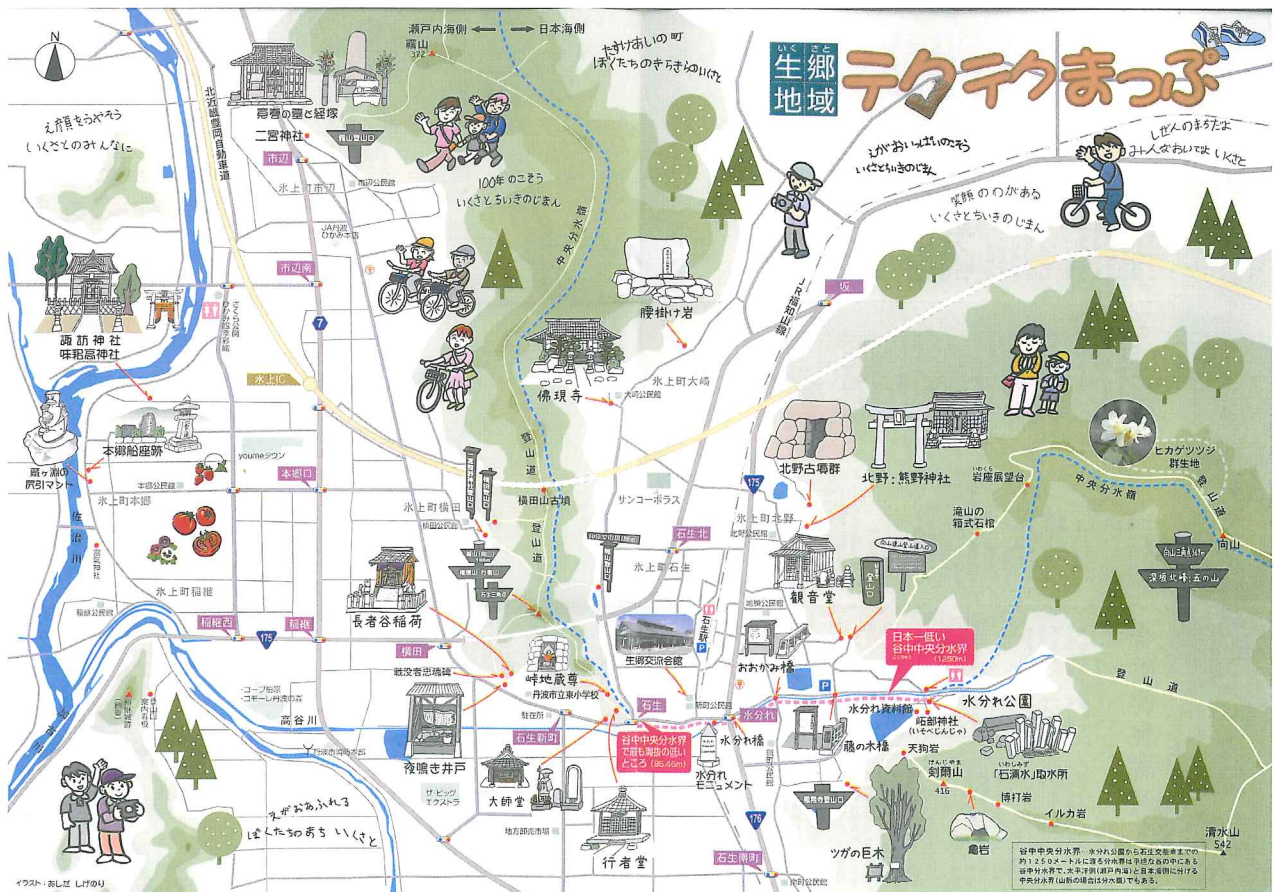


いくさと 生郷(ふるさと)計画

～みんなで創ろう！よりよい生郷(ふるさと)をめざして～



平成 28 年 4 月

生郷自治振興会

(生郷まちづくりビジョン計画策定委員会)

1 計画策定の経過

平成 19 年度から小学校区単位で取り組まれている地域づくり事業において、各校区単位で平成 23 年度計画策定が行われました。

この地域づくり計画は、住民の手による小学校区の総合計画であり、ここ生郷地区においても、自治振興会組織の中に「元気な地域づくり実行委員会」を設け、いろいろな事業への取り組みを進めながら5年が経過しました。

今後5年から 10 年先を見込んだ計画の見直し時期となり、新たに生郷地域づくりビジョン計画策定委員会を設け、以下の協議が進められました。

2 生郷地区の課題

生郷地区の現状を踏まえ、計画策定委員から多くの意見が出されました。それら意見を集約すると、交通の要衝であり物理的利便性の向上や新興住宅の増加による人口増などを課題要因とした4つの課題が見えてきました。

- 住民の手による安心安全な生活環境の再構築
- 人と人のつながりの大切さ
- 双方向を念頭に置いた情報提供の大切さ
- これらの課題を解決するための組織体制の再構築

3 地区の将来像と基本方針

計画策定委員会で協議の結果、将来像基本方針とともに、平成23年度策定のものを継続します。

将来像： **みんなで創ろう！ よいよい生郷(ふるさと)をめざして**

～こどもたちが20年、30年先、住みたいと思う元気なまちをめざす～

基本方針： ① **地域が活力あるものにする人材育成、やる気のある人に**

地域にある資源や人材を発掘し、互いに助け合う共助の精神の元で、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを応援します。

② **新しい取り組みで、地域の楽しみを作ること**

生郷（ふるさと）にある地域資源をもう一度見つめなおし、新しい楽しみを生み出す取り組みを支援します。

③ **地域を元気にするには、継続的な活動ができること**

この生郷（ふるさと）で育ったことを誇りに思い、心の中に、ふるさと「いくさと」を いつまでも持ち続けられる活動を展開します。

4 事業計画

課題の集約	活動のテーマ	事業概要
● 安心・安全な地域をつくるため、住「環境」の整備と地域防犯防災活動を推進する。	小学校区の基盤は、自治会や各種団体です。 自治会が元気な校区は、校区全体が元気になります。 生郷自治振興会では、自治会や各種団体が元気に継続的な活動を進められるような支援や、単位自治会では取り組みにくい活動を進めます。	防災訓練
		ゴミ対策
		桜の管理
		軽犯罪防止
● 生郷交流会館を拠点に、地域の「人」が集まり、積極的な交流活動を推進する。	住民同士が出会い、共に活動する機会を創造します。 加えて、生郷交流施設は、会議や行事だけに利用する施設ではなく、気軽に立ち寄れる住民の居場所でなければその存在価値は半減してしまいます。	交流会館の拠点化
		異世代交流活動の促進
		ふれあい交流メニューの開発
● 「情報」を日頃から提供し、自らの手で活力あるまちづくりを推進する。	生郷地区の活動内容を住民の皆さんに広く、深く理解していただけるように広報の充実を図り、同時に住民⇄自治振興会双方向の情報のやり取りを進め、皆さんの意見や思いを、活動に反映していきます。	情報発信の手段・広報紙(内容・回数)の見直し
		情報の双方発信
● 新しく生郷自治振興会の機構を見直し、「運営組織」体制を整備する。	上記それぞれの課題に取り組むために、現行組織の見直しを進め、持続性があり、より効果的で、一般住民も参加できるような体制づくりを図ります。	組織体制検討委員会の開設
		住民が企画運営に関わりやすいシステムづくり

※本計画は、生郷地区の将来にわたり、実情に応じて随時計画の見直しを行います。

5 計画の構成と進め方

計画は、設定した将来像達成に向けて、基本方針の考え方を実施する各種事業に盛り込みながら実行していきます。

計画期間は、概ね10年(平成28年度～37年度)とし、状況の変化も勘案し、3年程度の中期実施計画で構成します。

各中期実施計画開始年度の当初に、各事業とその予算を明確にし、住民周知を図ります。

なお、平成28年度については、組織体制の見直しを進める関係上、原則既存事業の実行をし、中期実施計画の本格実施は、平成29年度からとします。

計画と組織体制の見直しは、原則各中期計画終了時行うこととしますが、単年度の事業展開の検証を基に必要なに応じ随時行います。

また、事業評価については、公募制などによる評価委員会の設置や住民アンケートの活用など検討し進めていきます。

6 事業に関する主な協議内容

※以下のような事業を具体化し、財源や地区情勢等考慮しながら、中期実施計画を作り実行していきます。

- ① 防災訓練のノウハウ等をマニュアル化し、自治会への啓発と情報提供を行ない、各自治会での実施を目指す。
- ② 地区内各企業や各種団体に協同清掃活動を呼び掛け実施する。
- ③ ゴミのポイ捨てをさせない工夫について、事例研究を行い各自治会へ提案する。
- ④ 子ども見守り活動協力者の紹介を広報等で行うなど、学校・PTA・地域の連携強化の啓発活動。
- ⑤ 水分れ取水所の利用状況調査ほか、整備した施設等の現状把握と維持管理方針の検討と実施。
- ⑥ 住民の学びの場として、交流会館のスポーツを含む生涯学習活動拠点化を目指す。
(事業例：〇〇教室等の実施とサークル化)
- ⑦ 交流会館利用団体の組織化を図り、会場の利用調整や合同事業の実施など事業主体化を進める。
- ⑧ 多世代交流事業の企画実施や自治会等への提案。
(既存事業例：水分れまつり、音楽祭、通学合宿等)
- ⑨ 住民間の親睦はもとより、自由な発想でより有効な事業ヒントを語合い受入れられる機会と場の設定。
(事業例：「コミュニティカフェ」や「バル」などの定期開催)
- ⑩ 広報の質・量・手段の充実。

お問い合わせ先：生郷自治振興会

〒669-3464 丹波市氷上町石生700-1 (生郷交流会館内)

Tel/fax 0795-82-2666 e-mail ikusato.js@zeus.eonet.ne.jp

発行 生郷まちづくりビジョン計画策定委員会